



平成30年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月12日

上場会社名 株式会社 魚喜

上場取引所 東

コード番号 2683 URL <http://www.uoki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 有吉 喜文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 西山 武

TEL 0466-45-9282

四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	9,527	2.3	183		183		250	
29年2月期第3四半期	9,751	1.4	109		112		144	

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 243百万円 (%) 29年2月期第3四半期 142百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	98.09	
29年2月期第3四半期	56.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第3四半期	2,536	252	9.9	98.83
29年2月期	2,425	495	20.4	194.15

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 252百万円 29年2月期 495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		0.00	0.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	2.2	50	545.5	70	528.0	20		7.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期3Q	2,555,856 株	29年2月期	2,555,856 株
期末自己株式数	30年2月期3Q	2,061 株	29年2月期	2,061 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期3Q	2,553,795 株	29年2月期3Q	2,553,795 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年3月1日から平成29年11月30日まで)におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用情勢の改善など緩やかな回復基調にあるものの、新興国経済の減速や英国のEU離脱問題、米国新政権の施策動向や朝鮮半島・中東地域における情勢不安など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが事業の主体をおく水産小売業界においては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、節約志向・低価格志向がいまだに根強く続いております。他方、水産資源の枯渇や異常気象などによる漁獲量の減少に加えて、世界的規模の需要増により魚介類の仕入価格は依然として高騰傾向にあります。この消費性向と仕入環境により当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境において、当社は収益改善を図るべく、商品開発をはじめとする新しい商品MDの導入や売場の改善による既存店の強化を実施するとともに、利益確保が見込める優良物件への新規出店(鮮魚2店舗)及び不採算店舗の撤退(鮮魚4店舗)をいたしました。また、仕入効率化による原価率の低減、従業員1人当りの生産性向上のための要員見直し等を実施し、人件費及び諸経費の見直しを積極的に推進いたしました。

3月、4月は当初の見込み通りに売上、利益が推移いたしました。5月のアニサキスによる食中毒の報道以降、売上が大幅に落ち込み、当第3四半期後半には前年同期並みに回復基調にあるものの、その落ち込み分を補うには至らない状況となっております。この結果、当第3四半期連結累計期間における当社の売上高は95億27百万円(前年同四半期比2.3%減)、売上総利益は38億76百万円(前年同四半期比2.5%減)、営業損失は1億83百万円(前年同四半期は1億9百万円の営業損失)、経常損失は1億83百万円(前年同四半期は1億12百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億50百万円(前年同四半期は1億44百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(鮮魚事業)

鮮魚事業の売上高は、85億35百万円(前年同四半期比3.1%減)となり、セグメント利益は、1億77百万円(前年同四半期比41.0%減)となりました。

(飲食事業)

飲食事業の売上高は、7億28百万円(前年同四半期比0.0%減)となり、セグメント利益は、27百万円(前年同四半期比127.4%増)となりました。

(不動産事業)

不動産事業の売上高は、2億97百万円(前年同四半期比24.5%増)となり、セグメント利益は、26百万円(前年同四半期比47.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億11百万円増加し、25億36百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ91百万円増加して15億6百万円となり、また、固定資産は前連結会計年度末に比べ19百万円増加して10億30百万円となりました。

(負債)

負債の総額は、前連結会計年度末に比べ3億54百万円増加し、22億84百万円となりました。このうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ4億86百万円増加して16億98百万円となり、また、固定負債は前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少して5億85百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億43百万円減少し、2億52百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の通期の連結業績予想につきましては、例年水産小売業界における大きく業績に影響を及ぼす年末商戦の販売動向は概ね順調な結果となりましたが、年明け以降のアニサキスによる食中毒報道の業績に及ぼす影響等を慎重に見極めたいことから、平成29年4月14日の決算短信で公表いたしました予想内容を変更いたしません。

今後、業績が見通せる状況になり次第お知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	593,999	591,397
売掛金	512,302	574,719
商品	139,415	171,144
貯蔵品	12,716	11,834
繰延税金資産	25	108
その他	156,345	157,075
流動資産合計	1,414,804	1,506,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	679,029	690,992
減価償却累計額	△469,553	△493,961
建物及び構築物(純額)	209,476	197,030
工具、器具及び備品	847,919	881,573
減価償却累計額	△639,524	△671,851
工具、器具及び備品(純額)	208,395	209,721
土地	389	389
リース資産	32,577	21,577
減価償却累計額	△22,571	△15,908
リース資産(純額)	10,006	5,669
有形固定資産合計	428,267	412,811
無形固定資産		
リース資産	1,323	182
ソフトウェア仮勘定	12,000	—
その他	32,683	90,551
無形固定資産合計	46,006	90,733
投資その他の資産		
投資有価証券	101,591	101,738
敷金及び保証金	397,141	375,525
その他	37,393	49,524
投資その他の資産合計	536,126	526,788
固定資産合計	1,010,400	1,030,333
資産合計	2,425,204	2,536,614

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	444,589	543,148
短期借入金	140,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	223,340	233,300
リース債務	7,489	4,082
未払金	219,760	278,169
未払法人税等	12,244	33,328
賞与引当金	27,397	822
関係会社支援損失引当金	—	19,000
資産除去債務	48	88
その他	137,192	186,344
流動負債合計	1,212,062	1,698,284
固定負債		
長期借入金	570,550	441,425
リース債務	5,484	2,657
長期預り保証金	84,216	82,216
繰延税金負債	11,686	14,790
資産除去債務	43,923	43,940
負ののれん	1,454	909
固定負債合計	717,315	585,938
負債合計	1,929,377	2,284,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,031	941,031
資本剰余金	1,029,015	1,029,015
利益剰余金	△1,494,880	△1,745,375
自己株式	△5,456	△5,456
株主資本合計	469,710	219,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,116	33,176
その他の包括利益累計額合計	26,116	33,176
純資産合計	495,826	252,390
負債純資産合計	2,425,204	2,536,614

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	9,751,423	9,527,273
売上原価	5,776,725	5,651,144
売上総利益	3,974,698	3,876,129
販売費及び一般管理費	4,084,111	4,059,206
営業損失(△)	△109,412	△183,077
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	1,449	1,349
受取手数料	2,328	3,055
負ののれん償却額	545	545
その他	3,330	3,338
営業外収益合計	7,656	8,292
営業外費用		
支払利息	10,710	8,684
その他	141	165
営業外費用合計	10,852	8,850
経常損失(△)	△112,607	△183,635
特別利益		
固定資産売却益	400	459
固定資産受贈益	1,842	—
長期預り保証金精算益	10,443	—
その他	974	—
特別利益合計	13,660	459
特別損失		
固定資産除却損	16,580	9,299
店舗閉鎖損失	659	5,000
投資有価証券評価損	—	9,999
関係会社支援損失引当金繰入額	—	19,000
特別損失合計	17,239	43,299
税金等調整前四半期純損失(△)	△116,187	△226,475
法人税、住民税及び事業税	23,209	24,086
法人税等調整額	5,051	△66
法人税等合計	28,261	24,019
四半期純損失(△)	△144,448	△250,495
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△144,448	△250,495

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純損失(△)	△144,448	△250,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,249	7,060
その他の包括利益合計	2,249	7,060
四半期包括利益	△142,199	△243,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△142,199	△243,435
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,810,547	728,765	212,111	9,751,423	—	9,751,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	26,937	26,937	△26,937	—
計	8,810,547	728,765	239,048	9,778,361	△26,937	9,751,423
セグメント利益	300,209	12,064	17,885	330,159	△439,571	△109,412

(注) 1. セグメント利益の調整額△439,571千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△445,786千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,535,199	728,635	263,438	9,527,273	—	9,527,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	34,147	34,147	△34,147	—
計	8,535,199	728,635	297,585	9,561,420	△34,147	9,527,273
セグメント利益	177,110	27,435	26,419	230,965	△414,042	△183,077

(注) 1. セグメント利益の調整額△414,042千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△433,046千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。